

「5回の水害体験」

郡上市在住 Sさん 85歳 男性

天災は必ず来るものですが生涯に5回の水害を経験した人は少ないと思います。

祖母(88歳で昭和27年死亡)が私に昭和15年頃「人間は一生の内一度や二度は災害に会うもので明治24年の大水で郡上八幡大橋が畑に流れ付き、同じ明治24年には濃尾大地震で一週間家で寝れなんだぞえ」と話してくれましたが、私は年寄りの思い出話だと軽く聴いて居ました。

それが20年後に現実になり、昭和34年9月26日伊勢湾台風により田畑が壊滅的な打撃を受け援助により復旧しましたが、翌35年8月13日大風12号で前年より大きな打撃を受け田畑一面河原と化し、希望を無くしブラジル行きを決意したが妻にいさめられ再度援助で堤防を作ってもらえ、田畑も完成しました。

これでもう大きな災害は無いと思った処昭和51年9月12日の台風と平成11年9月15日の台風16号に依る大水で2回堤防を越える災害を受け、更に平成16年10月20日の台風23号に依り長良川は両岸の山裾まで増水し家も床下浸水。今まで先祖より言い伝えでも聴いたことの無い大水害に会いました。幸い当県の援助で復旧しましたが、振り返ってみると45年間に5回、9年間に1回の水害に会って居る訳で、今までも何時災害を受けるか分からないと思って居ます。

私の子供の頃は雨が降っても増水するのがゆるやかで減水するのもゆるやかでしたが、近年は増水減水が非常に速くなりました。原因は排水設備の完備や開発植林に依る雑木の減少等に起因するところが多いと愚考します。